

新しい
国会で

「たしかな野党」への期待にこたえ くらし・平和まもり全力—日本共産党



国会開会日、日本共産党9人の衆院議員は
そろって初登院



請願デモを激励する志位和夫委員長、笠井議員ら日本共産党
衆院議員団=国会開会の9月21日

小泉政治の暴走にたちむかり
総選挙後の特別国会、日本共産党は小泉自公政治の暴走にたちむかい全力で奮闘しています。民主党が自民党と同じレベルで「改革を競う」立場にのめりこむ中で、その役割はいつそう重要になっていきます。
比例東京ブロックから選出された笠井亮議員も、力いっぱい頑張っています。

かさい あきら
笠井 亮
衆議院議員、
(比例東京選出)

厚生労働委員、憲法調査特別委員に

公約実現へ
さつそく国会で奮闘

**「9条まもりぬく」の固い決意で
憲法調査特別委員会で奮戦**



憲法調査特別委で意見表明する
笠井議員=10月6日

特別国会の冒頭、自民、公明、民主などの賛成で憲法調査特別委員会の設置が強行されました。憲法「改

正」に必要な国民投票法案を審議するのが狙いで、改憲の動きは新たな緊迫した局面になっています。

10月6日から実質的な審議がスタート。笠井議員も意見表明し、改憲を許さず、憲法を政治に生かす立場で委員会にのぞむ決意をのべました。

**労働時間短縮に逆行する政府の措置
厚生労働委員会で追及**

日本の長時間労働は国際的にも批判され、政府は年間労働時間の千八百時間への短縮を18年間で19回も決定してきました。ところが小泉内閣の下で労働時間は延びて

いるのに時短目標の閣議決定を廃止しようとしています。笠井議員は10月12、14日の委員会で追及、時間外労働の上限規制こそ必要と強調しました。

**郵政法案強行に
本会議で反対討論**

衆議院でわずか1日半の審議での法案強行をつよく批判しました(10月11日)。



衆院本会議で郵政法案
への反対討論をする笠
井議員=10月11日

“東京の願い”を 国政にむすんで



党部委員会の厚労省交渉=10月14日

障害者の福祉・医療サービスに一部の応益負担を導入する障害者「自立支援」法案。あまりに過酷な負担に、障害者や家族から悲鳴が上がり、必死の運動が起っています。笠井議員は東大和市などで



東大和市で障害者と懇談=10月4日

障害者らと懇談。10月14日には党部委員会の代表や地方議員と厚労省交渉。国会審議でも参議院での小池晃議員らの追及につづき、衆院厚労委員会で法案阻止へ奮闘しています。

**障害者に重い負担している「自立支援」法案
調査・懇談、政府交渉、国会追及**

**利用者本位へ駅の改善を
JR新小岩駅を現地調査**



新小岩駅を調査する笠井議員ら=9月29日

今年度中に全体スケジュールを作るよう努力したいと答えました。

雨漏り対策やエレベーター設置、南北自由通路開設などの問題で9月29日、葛飾、江戸川区議団らと現地調査。駅から状況を聞き、対策を要望しました。10月7日には両区議団が、JR千葉支社と交渉。JR側は雨漏り対策は検討中で、南北通路は葛飾区と協議し、

日本共産党

衆院比例東京ブロックニュース

2005年10月 No.1
発行/国会議員団東京事務所

〒151-0053 渋谷区代々木1-44-11-1F Tel 03-5304-5639 Fax 03-3320-3374 Mail kokkaiTokyo@jcp.or.jp

介護保険の改悪は中止を

小池、笠井議員ら厚労大臣に申し入れ



尾辻厚労大臣に申し入れる小池晃参院議員、笠井議員ら国会議員団=9月26日

介護保険の改悪で介護施設での居住費(ホテルコスト)・食費は10月から自己負担にされました。党国会議員団は実施を前にした9月26日、尾辻秀久厚労大臣に自己負担の中止や実態

調査などを申し入れました。申し入れでは大幅な負担増にもかかわらず、内容が利用者、施設、自治体に十分徹底せず現場で混乱が生じていることや、負担増を心配し利用を控えるなどの事態が生まれていることを指摘し、緊急の措置を要求。

厚労大臣は、実施中止は難しいとしつつも、「実態調査は直ちにやらせていただく」「(自治体の減免措置への干渉は)まったく考えていない」などと答えました。

主な申し入れ内容

- 10月1日からの自己負担の実施中止を、
- 負担増の影響について直ちに実態調査を行うこと。
- 負担増で必要な介護が受けられない人をつくらないようにすること。減免措置の拡充、自治体独自の減免措置に干渉しないこと、等々。

しんぶん「赤旗」の普及にご協力下さい

日本共産党は、来年1月の党大会めざし、しんぶん「赤旗」の普及や新しい人を党に迎える「大運動」に取り組んでいます。笠井議員は10月1日、新宿区の戸山ハイツで、党支部や後援会の人たちとともに、しんぶん「赤旗」の購読をよびかけました。



新宿区戸山ハイツで=10月1日

ことし春の懇談以来の運動が実を結びました

東京事務所は1月、2月に、東京の団体や地方議員団と懇談し、さまざまな問題で、いっしょに運動をすすめてきました。各界の運動とあいまっていくつかが実を結んでいます。

● 視覚障害者の職場介助者助成が5年延長

視覚障害者や四肢機能障害者の仕事を補助する介助者をおく事業主に、国が助成する職場介助者制度は、助成期間が10年に限られ、延長を求める声は切実でした。5月の衆院厚労委での山口富男議員(当時)の質問に、厚労相は「検討」を約束。9月の厚労省審議会の答申で5年延長の運びに。

全国視覚障害者雇用促進連絡会などはさらに全就労期間への適用を求めて9月末に、小池議員秘書が同席して、厚労省に要請しました。

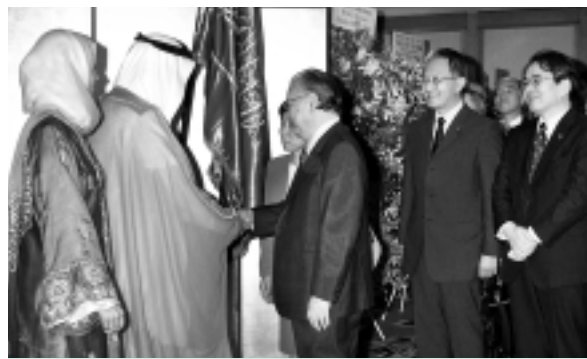
● 酒屋さんの営業まもる緊急措置が延長に

大型店や量販店の進出で、深刻な街の酒屋さん。経営を守るため2年前、一定の条件の地域で酒販免許の新規付与を制限する「緊急措置法」ができました。しかしことし8月までの時限立法だったため、心配が広がっていました。東京事務所は、国税庁から状況聴取しながら対策を要望、酒屋さんと懇談を行うなどしてきました。8月に緊急措置の延長法案が全会一致で成立、免許の付与規制は1年延長に。審議では党議員団がいっそうの対策を求め奮闘しました。

国際活動、精力的に——日本共産党

日本共産党は世界の平和と進歩のため、諸外国と幅広く交流し、世界政治に働きかける野党外交をすすめています。

総選挙後も国際活動を旺盛に。党国際局長として笠井議員も奮闘しています。



サウジアラビアナショナルデーレセプションで大使夫妻とあいさつする不破議長(中央)、笠井、緒方議員(右)=9月26日

9月26日〓サウジアラビアのナショナルデーレセプションに不破哲三議長、小池晃、緒方靖夫参院議員と参加。同29日〓中国建国記念レセプションに市田忠義書記局長、小池、緒方議員らと。10月3日〓ドイツ統一記念日レセプションに緒方議員と。



谷川外務副大臣への申し入れ=10月6日

よう10月6日、谷川外務副大臣に申し入れ。常任世話人の笠井議員も同席しました。

非核の政府を求める会が政府要請

国連総会にあたり日本政府が核兵器廃絶へ主導性を発揮する

笠井亮議員の奮戦日記から



労働組合の大会で

東京靴工組合(9月25日)、自交総連東京地連(同29日)、東京地評(10月2日/写真)、国労東京地本(同2日)、東京国公(同7日)の各大会であいさつ。



東京革新懇の学習交流集会で憲法問題を中心に報告(10月9日)。



総選挙翌日(9月12日)、新宿駅西口で結果報告の街頭演説。

国会議員団 東京事務所の生活法律相談(無料)

毎月第2・4土曜 午後2時~

※事前に電話で予約下さい